



かがわ看護だより

112

令和3年1月1日

令和3年1月1日現在 会員数

7,576名

- 保健師 208名
- 助産師 282名
- 看護師 6,881名
- 准看護師 205名

(公社)香川県看護協会 〒769-0102 高松市国分寺町国分152-4

TEL : 087-864-9070 FAX : 087-864-9071

<https://kagawa-kango.com>

発行責任者/安藤 幸代

大串公園（さぬき市）より日の出を拝む 撮影者：広報出版委員

《目次》

新年のご挨拶	2	保健師助産師看護師実習指導者講習会での学び	6
受章者のご紹介	3	香川県喀痰吸引等研修事業に従事して	7
新年の抱負 職能委員長の抱負	3	2022年度日本看護協会代議員・予備代議員への	
支部長の抱負	4	立候補並びに推薦について	7
令和2年度支部合同研修会及び交流会の開催	5	理事会報告・寄付報告	8
新型コロナウイルス感染症に関すること	5	2021年度会費納入について	8
認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して	6	お知らせ	8



新年のご挨拶

公益社団法人香川県看護協会

会長 安藤 幸代

新春のお慶びを申し上げます。

日頃から香川県看護協会の活動にご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大により2020年は、新しい生活様式、三密、テレワークなど、今までにない感染防止対策が求められ、いつまで続くかわからない感染症と毎日闘っておられる看護職の方々に、感謝と敬意を申し上げます。

日本看護協会は、看護職にエールを送るとともに、潜在看護職への復帰を求めるなど、今、看護職が求められていることを国民にもアピールし続けています。香川県看護協会も、香川県知事に、危険手当の支給や、ホテル宿泊費の助成など頑張っている看護職への処遇について要望をしました。また、コールセンターや軽症者療養施設への看護職派遣など香川県からの要請に対して、多くの会員や潜在看護師のご協力をいただき取り組んでいることに改めて感謝申し上げます。

9月には、日本看護学会一ヘルスプロモーションを開催の予定でしたが、残念ながらWeb学会となり全国で7,701人の方々が視聴されました。次年度から日本看護学会は、年2回、日本看護協会主催で実施されることになっています。

香川県看護協会での看護研修は、感染対策を実施し7月から開始しました。県外の講師はリモートでの講演にしました。また、参加人数の制限や開催時期をずらすなど、計画していた研修をできるだけ実施しました。しかし、短期間での計画変更は研修の過密化などで、会員の方々には、勤務の都合ができず予定していた研修に参加できないということにもなりご迷惑をおかけしました。次年度は、今回の経験を活かし、また、皆さま方から頂いたご意見などを参考に、開催方法などを見直し、研修の企画・運営について検討したいと考えています。

2021年度、認定看護管理者研修は、セカンドレベルと開催を延期していたサードレベルを実施します。残念ながら、ファーストレベルは、2021年度のみ休講させていただきます。

さて、今年度から、専門性を高めていただくための新人保健師研修を開始し、3職能全てで、対象にあわせた細やかな研修ができ、保健師、助産師、看護職の職能が合同で研修会を実施し職能間の交流もできています。職能委員の方々には、熱意をもって関わっていただき心強く、感謝しています。

2020年はナイチンゲール生誕200年、看護の日制定30年の記念の年でした。日本看護協会と日本看護連盟は、看護職への関心を深め、社会への貢献の最大化を目指すNursing Nowの趣旨に賛同し、キャンペーンを6月まで延長して実施しています。1月21日には記念イベントがWebで開催されます。どうぞご参加ください。

本年が皆さまにとって、幸せな年になりますようにお祈りしております。



<Nursing Now キャンペーンとは>

ナイチンゲールの生誕200年である2020年末まで、看護職が持つ可能性を最大限に発揮し、人々の健康向上に貢献するために行動する世界的なキャンペーンです。キャンペーンのきっかけとなった英国の議員連盟の報告書は、看護の発展は「持続可能な開発目標 (SDGs)」の17の目標のうち3つの目標 (目標3:すべての人に健康と福祉を、目標5:ジェンダー平等を実現しよう、目標8:働きがいも経済成長も) に貢献すると結論づけました。日本ではこれらに対し、次の取り組み方針を掲げて、キャンペーンを展開しています。



住民の健康を支える
看護モデルの確立



可能性の拡大:
より自律した専門職へ



看護職のディーセント・ワーク
(働きがいのある人間らしい仕事) の推進



WEB https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/nursing_now/nncj/

令和2年度

受章者のご紹介

おめでとうございます。長年のご活躍に敬意を表し心よりお祝い申し上げます

叙勲

瑞宝単光章

元香川県立白鳥病院 副看護部長 植村 智子 氏



新年の抱負

明けましておめでとうございます。昨年は、コロナ禍の中で、看護協会活動も思ったようにできませんでした。新年を迎え、「今年こそは！」と、新たな活動も考えながら取り組んでいただこうと、職能委員長さんや支部長さん方に抱負を述べていただきました。

職能委員長の抱負

保健師職能委員会

委員長 香西真由美

2020年は人類が大きな健康危機にさらされた一年であったと思います。この健康危機に第一線で対応されている皆様方に敬意を表したいと思います。



さて、こうした状況がいつまで続くのか不透明な部分もございますが、保健師職能委員会として、これまで積み上げてまいりました地域包括ケアシステムを更に深化させるため、他の看護職と保健師との連携や、そこに携わる後進保健師の人材育成に継続して今年も取り組んで参りたいと思います。

今だからこそできる、やれることを模索しながらではありますが、前を向いて、この健康危機を乗り越えていきたいと考えています。本年も皆様方のご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

看護師職能委員会Ⅰ 病院領域

委員長 熊野 知恵



今年度の検討課題の一つである看護師クリニカルラダーについて、昨年11月末に、念願であった交流会を開催することができました。皆様の看護の現任教育に対する熱い想いに触れることができ、私自身大変勉強になりました。

変化する時代のなかで、看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）で働く看護師の意識も変化していく必要があると、委員会活動を通じて実感している次第でございます。皆様にご協力いただいた意見を丁寧に紐解き、今後の看護師職能の一筋の光にできますよう、委員会メンバーとともに頑張っていきたいと思っておりますので、今年もよろしくお願い申し上げます。

助産師職能委員会

委員長 竹内美由紀

令和2年は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、活動形態の変更を余儀なくされました。皆様のご協力を得て、無事新人助産師研修会を開催でき、日々力をつけている新人達の元気な姿を見ることができています。また、研修会での県外講師はリモートで、県内助産師は看護研修センターに集合し、3密を避けながらの意見交換も実施できました。鈴宮先生の「周産期メンタルヘルスケア研修」では、保健師職能との合同研修で、妊娠期からの切れ目のない母子支援のため互いの活動の理解と連携の重要性を確認しました。また、井本理事の「母子にとって望ましい出産環境の体制整備」では、コロナ禍の中、母子にとって望ましいケア体制の整備と新たなケアの創造に活発な議論が交わされました。令和3年ウィズコロナの時代、社会のニーズにそった新たな助産ケアの創世をめざし活動を進めて参ります。



看護師職能委員会Ⅱ 介護・福祉関係施設・在宅等領域

委員長 山西 育子



高齢者介護施設、訪問看護ステーション、診療所等で働く看護師の支援に向けて活動しております。令和2年11月に高齢者介護施設の管理者・職員を対象とし看取り研修会・交流会を実施しました。「ACPを基礎から学ぼう」をテーマとし、県立保健医療大学の片山教授の講演、訪問看護や病院での看取りの実践報告をしました。新型コロナの影響もあり参加者は少なめでしたが、ACPのタイミングや、その人の価値観・思い・意向が表現されたピースを拾い集め、家族の思いも含めて合意形成を図ることの大切さを学びました。来年度はACPのスキルアップに向けた研修を検討しています。

同月「はじめてみようクリニカルラダー」をテーマに、看護師職能委員会ⅠとⅡの合同看護管理者研修会・交流会を開催しました。病院や介護老人保健施設、訪問看護ステーションからの実践報告を聞き意見交換をしました。クリニカルラダーへのハードルが下がったという声も聞かれ、来年度はクリニカルラダーの導入を試みる施設が増えるのではないかと期待感が持てる会になりました。来年度も皆様のご協力をいただけますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

支部長の抱負

【第4支部長 池内真理子】



地域包括ケアシステムの「地域連携」をテーマに、看護職連携のネットワーク強化に向け交流会を実施してきました。

2020年度も継続、進化するための計画を考えていました。コロナ禍の状況をふまえ10月に支部内における指定病院の感染管理認定看護師による研修を計画していましたが、12月12日に支部合同研修会及び交流会、新型コロナウイルス感染対策と課題についてオンライン研修が実施されました。

2021年2月には指定病院の感染管理認定看護師によるリモート研修を再計画していきたいと考えています。

【第3支部長 原渕美千代】



昨年、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の発生・拡大により計画していた支部活動がほとんどできませんでした。地域住民の健康相談、看看連携交流会、まちの保健室と地域包括ケアシステム構築には欠かせない活動でしたので、今年昨年の教訓を活かし地域住民とともに感染対策をしながらできる活動を考えていこうと思います。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

【第2支部長 中 久美子】



第2支部は、小豆医療圏地域包括ケア連絡会介護部会と地域包括ケアシステムの構築に向け共に活動しています。

今年は、昨年から目標に掲げていたアドバンスケアプランニングを広めるための活動を行っていきます。アドバンスケアプランニングの意思決定支援におけるスキルアップ、看護職の役割強化のために研修会・交流会を企画実施します。小豆地域の看看連携や多職種連携の推進役として活動し、小豆全体の地域連携強化に取り組みたいと思います。

【第5支部長 藤原久己子】



昨年は、未曾有の感染災害に見舞われ、医療従事者はそれぞれの現場で、様々なストレスを抱えながら専門職としての役割を果たした一年でした。

令和3年も暫くは「密接」「密閉」「密集」を避けながらの活動が求められます。第5支部では会員間の相互支援が図られるよう昨年経験したりリモート研修など新たな活動スタイルも視野に入れ、「わが町の看護チーム」が一致団結して社会に貢献できるよう看護の力を発揮していきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願い致します。

【第7支部長 森安 浩子】



今年度はまちの保健室、支部総会、交流会と例年当たり前のように行っていたことが、中止や方法を変更しての活動となりました。

「新型コロナウイルスに負けず暮らし続けるための感染対策」のテーマで交流会を開催しようと計画していましたが、支部合同研修としての開催となりました。令和3年の予測はできませんが、例年通りではなく目的と方法を再度検討し、取り組んでいこうと考えています。

【第6支部長 井原 光枝】



令和3年スタートする中、医療・看護界も新型コロナ禍による感染拡大を防ぎ、生活・医療提供環境の変化を受け止めながら、未来につながる看護が提供できるよう考えていかなければなりません。

地域包括ケアを進める中、何が最善かを考えてチームで支え合う結集力が、さらに必要不可欠となると考えています。昨年は支部としての活動ができていなかったため、今年度は第6支部でのつながりを強化し、対話のある活動を進めて参りたいと考えております。ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。



【第1支部長 中西 由美】



2020年、世界を覆った新型コロナウイルス感染症の拡大は、医療と看護を過酷な状況に追いやり、人々の暮らしも変化させつつあります。

その為、支部活動はリモート開催となる等、例年とは異なる方法で行うことになりました。今後しばらくは、コロナ禍で、人々の繋がりが希薄になり、孤立しがちな人々が増えていくことが予想されます。

そうした中、看護職員はもとより地域の人々の健康な生活の実現に寄与できるよう、県協会と連携した上で、地域住民のニーズに応えられる看護の質の向上に取り組んで参ります。



令和2年度支部合同研修会及び交流会の開催

12月12日に各支部の会場と看護協会看護研修センター、講師をオンラインで繋いだ研修会を開催しました。新型コロナ第3波の襲来の中ではありますが、3密を避け、感染対策を実施しながらの研修会となり全支部から170名の参加がありました。

今回は、各支部からの要望の高かったCOVID-19についての研修会とし、香川県立中央病院の感染症科部長 横田恭子先生から「新型コロナの最新の動向と感染対策について」の講義をして頂きました。これまでの分析されたデータからCOVID-19に対する感染症対策のあり方などの講演があり、受講された方はとても熱心に聞き入っていました。特に先生の講義で印象に残ったことは、

- ① 限りなく「密」を避ける。空気の流れをつくること。
- ② 「もし…となった」場合のことを常に考慮して机上で検討しておくこと（クライシスマネジメント）
- ③ COVID-19は情報戦である。正しい情報、正しい知識を得ることが大事である

また、感染管理認定看護師3人からそれぞれの施設における①新型コロナウイルスの暴露対策②新型コロナウイルス患者受入れにおけるゾーニング③発熱外来の運用について発表があり、とても参考になりました。

<院内における感染対策>



〔感染管理認定看護師の実践報告風景〕



〔講師とリモートでの講義風景〕



<参加者の感想>

- ◇ スライドがとても分かりやすい内容で、説明を聞いてさらに理解を深めることができた
- ◇ 決められたことだけでなく、「もしこうだったら…」と予測した対応をしなければならないと改めて感じた。
- ◇ 新型コロナウイルス感染症について最新の情報や対策を知り得ることができ、自施設に持ち帰り活かしたい。

常任理事 三原由紀美

新型コロナウイルス感染症に関すること

コロナ禍における関係機関等への看護師の派遣調整

コロナ禍において県や関係機関から、看護職員の派遣や感染管理認定看護師の講師派遣依頼などが看護協会に寄せられ、皆様方のご協力をいただきながら、派遣調整に取り組ませていただきました。

香川県から受託しています「新型コロナウイルス健康相談コールセンターでの相談業務」や「軽症者等宿泊療養施設における健康観察業務」については現在も引き続き、潜在看護職や医療機関の看護職の方々にご協力をいただき実施しています。

また、感染防止対策の一環として、県から保育所や他機関への感染管理認定看護師の講師派遣などの要請があり、皆様方にご協力いただいているところです。

特に、昨年11月上旬から三豊市や東かがわ市で発生した高病原性鳥インフルエンザについては、コロナ禍で多忙極まりない保健所や市町の保健師への支援を考慮し、県からの「防疫作業業務従事者の健康調査業務」の要請を受け、11月20日から12名の潜在看護職の協力を得て派遣調整させていただきました。

さらに、小豆島における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、同じように潜在看護職2名を小豆島中央病院に派遣調整するなど、皆様方と共に新しい生活様式の中で1日も早いコロナの収束を願いながら、看護協会としての役割を果たしていきたいと考えています。今後ともご協力、ご支援をお願いいたします。

専務理事 田中 邦代

1 保育所等・放課後児童クラブへの感染管理認定看護師の派遣

	実施日	派遣先
1	9月30日	善通寺市立善通寺保育所
2	10月15日	丸亀市立金倉保育所
3	10月16日	平井児童クラブ
4	11月4日	観音寺市立観音寺保育所
5	11月18日	坂出市立南部保育所
6	11月27日	丸亀市立垂水こども園
7	11月27日	東かがわ市立大内こども園
8	12月2日	学童保育なかよしクラブ
9	12月24日	丸亀市立岡田保育所
10	1月19日	丸亀市立青ノ山保育所
11	1月調整中	多度津地区児童館放課後児童クラブ
12	2月16日	丸亀市立飯山北第1保育所

2 その他機関への講師派遣

	実施日	派遣先
1	10月25日	アイバル香川
2	12月21日	県庁又は児童相談所
3	2月6日	高松市医師会館

3 病院への看護師派遣

	実施日	派遣先
1	12月10-11日	小豆島中央病院

認定看護管理者教育課程ファーストレベルを受講して

高松赤十字病院 山下加奈恵

香川県看護協会で開催された認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修を受講させていただきました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、徹底した消毒と換気、密にならない座席の配置、少人数でのグループワーク、オンライン講義など様々な工夫をしていただき、無事に研修を受講することができました。今回の研修では、看護専門職としての管理の基礎知識や理論など多くの事を学ぶことができました。中でも人材管理では、強い組織とは学習する組織であり、学習する意欲を引き出すための動機づけやフィードバックなどの指導方法について学びました。また、講義や統合演習、レポートを通して、自部署の現状から問題を抽出し、課題に取り組むためには主観的に考えるのではなく、構造や背景、データなどから客観的に分析するなど、管理的な視点で考える機会を得ることができました。グループワークでは、他施設の受講者や支援者と意見交換することができ、考え方や視野を広げることができました。

今後は、今回の研修で学んだことを活かし、質の高い看護が提供できるように取り組んでいきたいと思えます。

[統合演習：看護管理実践計画書発表会風景]



保健師助産師看護師実習指導者講習会での学び

香川県立中央病院 片本 葵

令和2年度保健師助産師看護師実習指導者講習会は40日間をかけて開催されました。教育学の基礎から看護実習指導方法について学び、指導者としての在り方や指導技術を身につけることができました。前期での学びを踏まえて、後期では指導案を作成しました。学生の視野を広げるための発問や、主体性をもって取り組むためのアプローチ方法などを具体的に考えて文章化することは難しかったですが、これによって、より一層指導方法への理解を深めることができました。また受講者それぞれの指導観や指導の悩みなどを共有し、互いの意識を高めることに繋がりました。

学生が主体性をもって取り組めるようにするために、学生を知ろうと続ける努力をすることが実習を成功させる鍵であること、そのためにはコミュニケーションを大切に、病棟スタッフが興味を持てるように管理者を巻き込んだ働きかけをしていこうと思えます。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により臨地実習がほとんど実施できず、各学校での模擬実習の取り組みであったことを知りました。現場で学べない学生の不安な気持ちを受け止め、実習が再開された際には、その気持ちに寄り添って指導をしていきたいです。



[閉講式後の記念撮影]

香川県喀痰吸引等研修事業に従事して

香川県看護協会喀痰吸引等研修担当 大川 操

社会福祉士及び介護福祉士法の改正に伴い、平成24年4月からたんの吸引や経管栄養といった医行為については、一定の条件下で介護職員が実施することが可能となり、関係機関において実施体制の整備が図られるようになりました。そのような中、平成23年度から香川県の委託事業として、介護職員等を対象にした喀痰吸引等研修を実施することになり、今年度で研修10年目の節目を迎え事業は終了することとなりました。この10年間で、介護職員580名、指導看護師399名が研修修了となりました。

振り返ると、研修1年目は厚生労働省の指針に沿った研修実施体制整備が急務で、研修資料の作成や研修に必要な機械器具等の備品整備等に取り組みました。

受講者は、50時間以上の講義、演習・評価、筆記試験を受け、合格後、各施設において指導看護師のもと必要回数の実地研修を行い、さらに看護協会指導講師による最終評価を得て修了証明書の交付となっていました。

実施する医行為は、①口腔内喀痰吸引②鼻腔内喀痰吸引③気管カニューレ内部の喀痰吸引④胃ろう又は腸ろうによる経管栄養⑤経鼻経管栄養の5行為と当初オプションになっていた半固形の注入行為でした。

演習実施では、介護職員等が安全な技術習得に混乱をきたさないように、看護協会の演習指導講師が一貫した指導を行いチーム一丸となり臨みました。

そのため演習指導講師は、勉強会を重ね評価の視点や留意事項、Q&Aを作成しました。また、研修後の振り返りでは、演習指導のあり方を再確認し、研修前の打ち合わせ会では指導内容を統一して指導にあたりました。

施設での実地研修では、現場の指導看護師の指導力が重要でした。そのため、指導看護師養成研修では、演習を重視し、少人数での1日研修の実施や年1回のフォローアップ研修にて手技等の確認を行いました。

介護職員の医行為をすすめるためには、施設長の理解を得ることが大切でした。そのため、施設長や看護師等関係者の研修、実践報告等を実施しながら、介護職員が自信をもって安心安全な行為ができる施設での体制づくりなどにも配慮しながらの取り組みでした。

来年度からは民間の登録研修機関が実施することになりましたが、指導看護師の養成がありません。今後の質の確保が懸念されますが、研修を受講し指導看護師となられた方々に質の確保を願うばかりです。



〔モデル人形を使っでの演習風景〕

2022年度日本看護協会代議員・予備代議員への 立候補並びに推薦について

選挙管理委員会・推薦委員会からのお知らせ

令和3年6月20日(日)に開催される定時総会において、2022年度日本看護協会代議員・予備代議員の選挙を実施します。立候補並びに推薦の受付期間などについてお知らせします。

なお、役員辞任に伴う追加公示はホームページで行います。

■改選人数と役職名

1. 代議員 7名(保健師1名、助産師1名、看護師4名、准看護師1名)
2. 予備代議員 10名(保健師2名、助産師2名、看護師4名、准看護師2名)

※人数は想定

■受付期間など

立候補される方は、会員10名以上の推薦(定款細則第7条1項)を受けて、届出用紙を選挙管理委員長あてに届け出てください(郵送可)。推薦を行う場合は、所定の用紙に記入のうえ推薦委員長あてに届け出てください(郵送可)。届出用紙は香川県看護協会にお問い合わせください。

〔送付先〕〒769-0102 香川県高松市国分寺町国分152-4

香川県看護協会選挙管理委員長宛(親展)または推薦委員長宛(親展)

〔提出締切日〕令和3年1月20日(水) *当日消印有効

●協議事項

- 1 令和2年度第2四半期会計報告(案)、監査報告(承認)
- 2 香川県看護協会令和3年度年間行事予定について(会議のみ)(案)(承認)
- 3 令和3年度教育計画(案)について(承認)
- 4 「香川県看護学会誌」の名称及び香川県看護学会規程(案)(規程の策定:承認)(名称等:継続審議)

寄付報告

元香川県立白鳥病院 副看護部長
植村智子様より、香川県看護協会
にご寄付をいただきました。
感謝申し上げます。

2021年度 会費納入について

日本看護協会から届いている「継続のお知らせ」に記載されている「会費納入方法」をご確認いただき、納入をお願いします。

口座振替	会費の第1回目の引落日は、令和3年1月27日(水)です。登録口座の残高確認をお願いします。なお、残高不足等で引落ができなかった場合は、ご自宅へ届く「コンビニ払込用紙」でお支払いください。
勤務先で取りまとめて納入	勤務先の担当者に会費をお渡しください。担当者は令和3年1月20日(水)まで(※)に「施設専用口座」へ振込みをお願いします。
銀行振込・コンビニ払込	「継続のお知らせ」に同封されてる「振込・払込用紙」で令和3年1月20日(水)まで(※)にお支払いください。

(※)令和3年1月20日までに納入できなかった場合は当会までご連絡ください。

お知らせ

専門職能団体
看護協会への入会を!!!

今後の研修会・記念行事等の
変更・中止につきましては、
公式ホームページでお知らせいたします。

1 香川県地域包括ケアシステム学会 第3回学術集会
日時: 令和3年1月17日(日) 9:30~15:45
場所: レクザムホール5階 多目的会議室(玉藻)
(Zoom配信によるWeb参加とのハイブリッド形式)
申込: 学会HP「新規登録」ページ又はQRコードより



2 「看護の日・看護週間」制定30周年ナイチンゲール
生誕200周年記念イベント
Nursing Now: 看護の力で未来を創る
日時: 令和3年1月21日(木)
9:30~17:00
開催: Web開催
申込: 特設Webサイトより



3 研修案内

1 保健師助産師看護師実習指導者講習会フォローアップ研修
日時: 令和3年2月13日(土) 9:00~12:00
対象: 令和元年度保健師助産師看護師実習指導者講習会修了者
募集期間: 令和3年2月1日(月)~2月9日(火)

2 ファーストレベルフォローアップ研修
日時: 令和3年2月20日(土) 9:00~12:00
対象: 令和元年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者
募集期間: 令和3年2月5日(金)~2月13日(土)

3 医療安全管理者フォローアップ研修・交流会
日時: 令和3年2月20日(土) 9:00~12:00
対象: 医療安全管理者養成研修修了者、医療安全管理を担う者、看護管理者、その他希望者
募集期間: 令和3年2月5日(金)~2月13日(土)

4 香川県看護協会事業活動実践報告会
日時: 令和3年3月6日(土) 13:30~16:00
場所: 香川県看護協会看護研修センター

5 令和3年度 香川県看護協会定時総会
合同委員会の日程が決まりました。
定時総会・職能合同交流集会 6月20日(日)
合同委員会 6月26日(土)

6 届出専用サイト「とどけるん」
から再就職への道を!

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の一部改正により、看護職は離職時等に都道府県ナースセンターへ届け出ることが努力義務化されています。届け出た看護職に対し、都道府県ナースセンターが離職者の状況に合わせた支援を行います。同僚やお知り合いの方で退職された方などがあれば、お声掛けをお願いします。

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>

お問合せ: 香川県ナースセンターに
ご連絡ください。
電話: 087-864-9075
FAX: 087-864-9071



編集後記

丑年は十二支の2番目で、芽吹きを迎えようとする年です。
令和になってはじめての丑年です。
2021年はみんなでコロナを克服しその中から数々のイノベーションが生まれ、希望に満ちた年になると良いですね。

